

— 1 —
次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

米国の西部の上空を飛行機で飛んでいるときに、下を見ると、じつに不思議な景色が見られます。

まわりは一面の砂漠なのに、緑色をした巨大な丸いものがいくつも見えるのです。この丸は、直径が四〇〇メートル、甲子園球場のグラウンド八つ分の広さです。なかには半径が一キロを超えるものもあります。じつは、この丸いものは、もともとの砂漠地帯に、人工的に水をまいてトウモロコシなどを作っている灌漑農業の畑なのです。〈ア〉

作物に水をまくために、この丸の半径の長さを持つ、車輪のついた長い管が畑のまん中から出ています。この管には穴がいっぱいあいていて、その穴から肥料をまぜた水が出るようになっています。そして、この管は、畑のまん中を中心にして、ゆっくり回って、丸い畑全体に肥料と水をまくのです。この装置を「センターピボット」といいます。〈イ〉

ここは砂漠地帯ですから、近くに大きな川はありません。この水は井戸を掘って、地下深くからくみあげてきた地下水なのです。

米国でも、雨が多くて、こんなことをしなくても作物がとれるところがあります。しかし、農業は米国にとって大事な産業ですし、米国からほかの国に輸出するために、作物はいくらでもとりたくて、むかしは農業が行われていなかった砂漠地帯でも、このような灌漑農業が行われているのです。

A、この灌漑農業には、じつはたいへんな問題が起きることがわかってきました。深いところからくみあげた地下水には、わずかに塩分がまじっていることはわかっていました。でもはじめのうちは、問題はありませんでした。

地下水の塩分には、わたしたちが食事のときに使うナトリウム塩のほか、カルシウムやマグネシウムの塩もまじっています。これらの塩分は、地下水が長いあいだかかって、まわりの岩から、少しずつ溶かしこんだものです。

そして、このような灌漑農業をつづけているうちに、地下水とともに出てきた塩分が、畑の中でどんどんたまっていって、ついに作物がとれなくなってしまうのです。海水では普通の植物が育たないように、塩分が多い畑では、作物がとれません。〈ウ〉

また、地下水をくみ上げない灌漑農業でも、畑に水をまいたために、地下の塩分が上がってきてしまうことがあります。とくに夏など、温度が高くて乾いている季節には、地表から水がたくさん蒸発します。そうすると、地下水が吸い上げられて、地下水の中に入っていた塩分が上がってきてしまうのです。

もともと深いところにあった地下水は、それまでは地表に上がってくることはなかったのですが、作物を作るために大量の水をまいたために、水がしみこんでいって浅いところの地下水が増えて、地下水のいちばん上のはしが浅くなり、上がってきやすくなってしまったのです

B、地下水を使っても使わなくても、灌漑農業では、塩分が出てきて畑で作物が作れなくなる問題があるのです。

地下水を使って灌漑農業をやっているところは米国だけではなく、インドなどアジアや中央アジアや中東でも、さかんに行われています。〈エ〉

米国の砂漠地帯では、まわりに広大な砂漠がひろがっていますから、ひとつの畑が塩分のために使えなくなってしまうたら、こんどはとなりの土地でつづけていきます。こうして、ひとつの場所がだめになったら、次つぎに、畑を移していくことがおこなわれているのです。

(島村英紀「地球環境のしくみ」による)

(注) *灌漑農業……人工的に水を引き入れて作物を育てる農業のこと。

問一 文章中の A・B に入る最も適切な言葉を、次のア～オから一つ
ずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア そして イ ところが ウ さらに
エ つまり オ また

問二 次の一文が入る最も適切な箇所を、文章中の〈ア〉～〈エ〉から一つ選
び、記号で答えなさい。

・そのどこでも、同じような問題が出てきているのです。

問三 — 線①「灌漑農業の畑」とあるが、これと同じものを表している言葉
を、文章中から十二字で抜き出しなさい。

問四 — 線②「センターピボット」で畑に水をまくしくみについて説明した
次の文の I・II に入る適切な言葉を、それぞれ十五字以上、二十字
以内で書きなさい。ただし、Iは「畑」という言葉を使うこと。

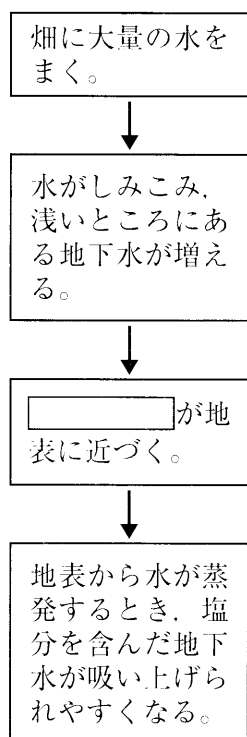
畑のまん中から、I が出ていて、それにあいた穴から水が出るよ
うになっている。そして、それが II ことで、畑全体に水が行きわたる。

問五 — 線③「地下水を使っても使わなくても、……作物が作れなくなる問
題がある」について、次の問いに答えなさい。

(1) 地下水を使った場合に作物が作れなくなるのはなぜか。その理由を、次
の ア～エ から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 地下水を畑にまくことで、それに含まれる塩分が土壌に堆積するから。
イ 地下の水分をくみあげてしまうので、土壌の塩分濃度が高くなるから。
ウ 塩分を含む肥料を地下水にまぜてまくことで、畑に塩分がたまるから。
エ 地中から地下水をくみあげる途中で、塩分が土壌に溶けこんでいくから。

(2) 地下水を使わない場合に起こることを、次のように図に表すとき、図の
 に入る最も適切な言葉を、文章中から十二字で抜き出しなさい。



問六 — 線④「ひとつの場所がだめになったら、……おこなわれている」とあるが、米国ではなぜ、このように作物の作りづらい砂漠地帯で農業がおこなわれるのか。「産業」「輸出」の二語を使い、「～から。」に続く形で、三十字以上、三十五字以内で書きなさい。

二

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

A 鳴く虫

高橋元吉
たかはしもとよし

草かげの

鳴く虫たちの宝石工場

どの音もみんなあんなに冴^さえているから

虫たちはきつといっしんになって

それぞれちがつたいろの宝石を磨^{みが}いているのだろう

宝石のひかりがうつり

いいようのない色まであつて

方々の草かげがほんのりあかるい

秋です。空が高い。それなら、大地は？ 虫の音が高くなります。

そのまま、大自然の詩ですね。みなさん感嘆^{かんたん}します。だが、それは日本だけ

でのこと。ほとんどの異国人、とくに西欧人にとっては、雑音^{ざしつ}なのです。した

がって、文学や美術の対象とはならない。秋の虫の歌、それに春の桜の花、こ

れに魅^ひかれるのは、極東の島国の独自。不思議ですね。

作品『鳴く虫』の虫の歌の受けとりかた、これはその日本のなかでも、また

特別ですね。I 音が、あの虫の音というのです。そればかりではない。

その「宝石のひかり」が光り出て、「方々の草かげがほんのりあかるい」という

のです。これには驚^{おどろ}きます。これまでの誰も思いつかないことです。

しかし、この「宝石のひかり」は、いったい何なのでしょう。きつと草むら

のなかまで降りそそいできている月の光のことですね。つまり虫は月の光を磨

いている。そう思いましょう。

B 夕焼け

黒田三郎
くろださぶろう

第一連

いてはならないところにいるような
こころのやましき
それは
いつ
どうして
僕のなかに宿ったのか
色あせた夕焼け雲のように

第二連

大都會の夕暮^{ゆふぐれ}の電車の窓ごしに
僕はただ黙^{もく}して見る
夕焼けた空
昏^くれ残る梢^{こずえ}
灰色の建物の起伏^{きふく}
影^{かげ}
美しい影
醜^{みにく}いものの美しい影

十月は、いかにも秋のまんなかです。ものみなが、ひたすら熟^うれてゆきます。その先にくる死の予感を抱^だきしめながら。

夕焼けで世界を染めて沈む太陽が、典型ですね。冬の夕焼けはきびしく鮮^せ烈^{れつ}。

だが、秋の夕焼けは、トマト色にうるんで II。

この作者は、その太陽の前にいます。若くはない。「色あせた夕焼け雲」など

といって、そこに自分を重ねて見ているのです。

「いてはならないところにいるような」やましき。これは、大人の誰もが持つ

気持^{きもち}ではないでしょうか。でも、どこで？ 教会で？ 会社で？ ひよつとし

たら家庭で？

いずれにせよ、自分は醜^{みにく}い影だ、という自覚があるのですね。とすれば、こ

の作品の最後の見事な一行、「醜^{みにく}いものの美しい影」、これは救いになるのでし

ようか。

悩ましい。やはり自分は「美しいものの醜^{みにく}い影」と思いたくなります。だが、

そういう切なさ^{あた}を与えるのが、十月の美しさなのです。
(宗 左近「あなたにいたくて生まれてきた詩」による)

問一 文章中のA・Bの詩で使われている表現技法を、次のア～オから二つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。(同じ記号を二度用いてもよい。)

- ア 省略法 イ 対句法 ウ 体言止め
エ 擬人法 オ 倒置法

問二 文章中のIに入る最も適切な言葉を、Aの詩中から八字で抜き出さない。

問三 —線部「これには驚きます」とあるが、鑑賞文の筆者は、詩のどのような点に驚いたのか。次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自然を題材にしつつ、宝石工場という幻想的な情景を描いている点。
イ 聴覚的な美しさから、目に見える美しさを連想して描いている点。
ウ 外面的な美しさよりも、虫たちの内面の美を強調して描いている点。
エ さわがしいはずの虫の音を、誰もが心魅かれるように描いている点。

問四 文章中のIIに入る最も適切な言葉を、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 物悲しい イ 親しみやすい
ウ 初々しい エ すがすがしい

問五 中学生の青山さんと里村さんが、Bの詩について、それぞれ次のような感想を書いた。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【青山さんの感想】

「いてはならないところにいるような／このころのやましき」という言葉が、僕にはわかる気がする。それは、自分が周囲にすんなり溶け込めない違和感とか、こんな自分でいいのかという不満や不安を表していると思う。子どものころはそんな気持ちはなかったはずなのに……という気持ちが、aの部分から読み取れる。表現としては、一つの言葉をだんだん詳しく表現していくbの部分で印象的だった。

【里村さんの感想】

この詩には美しいものと醜いものが同居していて、私はそこに心を魅かれた。「色あせた夕焼け雲」という言葉もそうだし、cなども、普通は美しい風景ではない。でも、何もかもが、「影」だけは美しく見える。同じように、醜い自分もせめて夕焼けの中だけではdでいたい——そんな作者の気持ちが詩から感じられた。

(1) a・bに入る最も適切な詩の箇所を、次のア～オから一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア 第一連の一～二行目 イ 第一連の三～六行目
ウ 第二連の一～二行目 エ 第二連の三～五行目
オ 第二連の六～八行目

(2) cに入る最も適切な言葉を、Bの詩中から五字で抜き出さない。

(3) dに入る最も適切な言葉を、Bの詩の鑑賞文中から、四字で抜き出さない。

三

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

水力発電は、単位出力あたりのコストが安く、二酸化炭素などの排出がないなどの点で、^①優れた発電方法です。そのため、発電所の開発に^②ジョセイ金が出されるなど、水力発電を推進する^③施策が制度化されています。しかし、ダムを^A建設する際には、山や森を^{おおはば}大幅に^④削ることもなり、^⑤ジュウライの自然の景観が^⑥ウシナわれるのはもちろん、^a流域の生態系にも^⑦影響が出ます。そうした環境破壊への懸念^⑧、また、大キボなダムの建設には膨大な費用がかかることなどから、最近ではダムを建設することにもっと慎重^{しんちょう}になるべきだとの声も高ま^bつてきています。このようにダムによる水力発電には賛否^B□□があり、私たち一人ひとりが、今後のダムの在り方を考えていくことも重要です。

問一 ― 線①～⑧の漢字はその読みをひらがなで書き、カタカナは漢字（楷^か書）に直して書きなさい。

問二 ― 線A「建設」の対義語を、文章中からそのまま抜き出しなさい。

問三 ― 線B「賛否□□」が、文脈に合った四字熟語になるように、□に入る漢字二字を書きなさい。

問四 ― 線a「もちろん」、b「高まつ」と品詞が同じものを、次のア～エから一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- a
- ア ちよつと、いま何時かわかりますか。
- イ もう二度と会えないかもしれない。
- ウ この道はどこに続いているのだろう。
- エ それほどたいした問題ではない。
- b
- ア 思ったより寒かった。
- イ 勝算は十分にあった。
- ウ 家の外は静かだった。
- エ 一人でさびしかった。

四

次の古文を読んで、あとの問いに答えなさい。

作者は少女のころ、父が任地に下るのにもなつて、上総（今の千葉県）で暮らしていた。やがて父の任期が切れ、一家は都に戻ってきた。

*まよはし

継母なりし人は、宮仕へせしが下りしなれば、思ひしにあらぬことどもなど

もともと宮仕へしていた人が地方へ下つていたので

（いなか暮らしの、思いもよらぬことへの不満の数々）

ありて、世の中うらめしげにて、外にわたるとて五つばかりなるちごどもなど

夫婦仲もきくしやくした様子で

よそへ出て行くというこゝろで

（「ちごども」を連

して、「あはれなりつる心のほどなむ、忘れむ世あるまじき」などいひて、梅の

なつてくれたあなたのお心

忘れることは

木の、つま近くて、いと大きなるを、「これが花の咲かむをりはこむよ」といひ

のき先に

ころ

おきてわたりぬるを、心のうちに恋しくあはれなりと思ひつつ、しのびねをの

出て行つてしまったのを

しのびでこつそり

み泣きて、その年もかへりぬ。いつしか、梅咲かなむ。こむとありしを、さや

泣いてばかりいて

改まった

早く

咲いてほしい

言つたけれど 本意だ

あると、目をかけて待ちわたるに、花もみな咲きぬれど、音もせず。

（梅の木を）見守つて

何の連絡もない

（菅原孝標女「更級日記」による）

（注） *継母……血のつながりのない母親。上総で作者と一緒に暮らしていた。

問一 古文中で、作者が心の中で思っている部分として「」を付けられる二十三字の言葉を抜き出し、その初めと終わりの四字ずつを書きなさい。（句読点も字数に数える。）

問二 ——線①「あはれなりつる心のほど」の部分で、現代かなづかいに直して、すべてひらがなで書きなさい。

問三 ——線②「これ」とは何か。最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 継母 イ 作者
- ウ ちごども エ 梅の木

問四 ——線③「咲きぬれど」の意味として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 今にも咲きそうなのに イ まだ咲かないのに
- ウ 咲いてしまったのに エ 咲いたらしいのに

問五 この場面での、継母への作者の気持ちをよく表している言葉を、古文中から八字で抜き出しなさい。

問一	初め				、	終わり	
問二	問三						
問四		問五					

国語

— 解答と採点基準 —

TI-B5-H

・漢字は、楷書で書いてあること 「つき・離れ・はね・とめ」の方向については、全体の字形をこわさない限り可
・漫画字は不可
・記号で書く答えを、言葉で書いていたら不可。また、特に指示がない限り、記号を一つ以上答えているものも不可

配点 100点
30点

一

問二	A	イ	B	エ	問三	〈エ〉															
問三	緑	色	を	し	た	巨	大	な	丸	い	も	の									
問四	I	畑	の	半	径	の	長	さ	を	持	つ	、	車	輪	の	つ	い	た	長	い	管
	II	畑	の	ま	ん	中	を	中	心	に	し	て	、	ゆ	っ	く	り	回	る		
問五	(1)	ア																			
	(2)	地	下	水	の	い	ち	ば	ん	上	の	は	し								
問六	例	農	業	は	大	事	な	産	業	で	、	ほ	か	の	国	に	輸	出	す	る	た
		め	に	作	物	を	少	し	で	も	多	く	と	り	た	い	か	ら			

一
28点・問一・二・三・四・五・六・七・八・九・十・十一・十二・十三・十四・十五・十六・十七・十八・十九・二十・二十一・二十二・二十三・二十四・二十五・二十六・二十七・二十八・二十九・三十・三十一・三十二・三十三・三十四・三十五・三十六・三十七・三十八・三十九・四十・四十一・四十二・四十三・四十四・四十五・四十六・四十七・四十八・四十九・五十・五十一・五十二・五十三・五十四・五十五・五十六・五十七・五十八・五十九・六十・六十一・六十二・六十三・六十四・六十五・六十六・六十七・六十八・六十九・七十・七十一・七十二・七十三・七十四・七十五・七十六・七十七・七十八・七十九・八十・八十一・八十二・八十三・八十四・八十五・八十六・八十七・八十八・八十九・九十・九十一・九十二・九十三・九十四・九十五・九十六・九十七・九十八・九十九・一百
他は4点×5
11点・問一・二・三・四・五・六・七・八・九・十・十一・十二・十三・十四・十五・十六・十七・十八・十九・二十・二十一・二十二・二十三・二十四・二十五・二十六・二十七・二十八・二十九・三十・三十一・三十二・三十三・三十四・三十五・三十六・三十七・三十八・三十九・四十・四十一・四十二・四十三・四十四・四十五・四十六・四十七・四十八・四十九・五十・五十一・五十二・五十三・五十四・五十五・五十六・五十七・五十八・五十九・六十・六十一・六十二・六十三・六十四・六十五・六十六・六十七・六十八・六十九・七十・七十一・七十二・七十三・七十四・七十五・七十六・七十七・七十八・七十九・八十・八十一・八十二・八十三・八十四・八十五・八十六・八十七・八十八・八十九・九十・九十一・九十二・九十三・九十四・九十五・九十六・九十七・九十八・九十九・一百
問四 I 例解と同意
ていれば正解。を用い
II 例解と同意であ
れば正解。
問六 例解と同意で
「産業」「輸出」の語
を用い、指定の形で
あれば正解。

二

問二	A	ウ		エ	B	ウ		オ				
問二	宝	石	を	磨	い	て	い	る	問三	イ	問四	ア
問五	(1)	a		イ		b	オ					
	(2)	灰	色	の	建	物						
	(3)	美	し	い	影							

二
34点・問一・二・三・四・五・六・七・八・九・十・十一・十二・十三・十四・十五・十六・十七・十八・十九・二十・二十一・二十二・二十三・二十四・二十五・二十六・二十七・二十八・二十九・三十・三十一・三十二・三十三・三十四・三十五・三十六・三十七・三十八・三十九・四十・四十一・四十二・四十三・四十四・四十五・四十六・四十七・四十八・四十九・五十・五十一・五十二・五十三・五十四・五十五・五十六・五十七・五十八・五十九・六十・六十一・六十二・六十三・六十四・六十五・六十六・六十七・六十八・六十九・七十・七十一・七十二・七十三・七十四・七十五・七十六・七十七・七十八・七十九・八十・八十一・八十二・八十三・八十四・八十五・八十六・八十七・八十八・八十九・九十・九十一・九十二・九十三・九十四・九十五・九十六・九十七・九十八・九十九・一百
他は4点×6
17点・問一・二・三・四・五・六・七・八・九・十・十一・十二・十三・十四・十五・十六・十七・十八・十九・二十・二十一・二十二・二十三・二十四・二十五・二十六・二十七・二十八・二十九・三十・三十一・三十二・三十三・三十四・三十五・三十六・三十七・三十八・三十九・四十・四十一・四十二・四十三・四十四・四十五・四十六・四十七・四十八・四十九・五十・五十一・五十二・五十三・五十四・五十五・五十六・五十七・五十八・五十九・六十・六十一・六十二・六十三・六十四・六十五・六十六・六十七・六十八・六十九・七十・七十一・七十二・七十三・七十四・七十五・七十六・七十七・七十八・七十九・八十・八十一・八十二・八十三・八十四・八十五・八十六・八十七・八十八・八十九・九十・九十一・九十二・九十三・九十四・九十五・九十六・九十七・九十八・九十九・一百
問一 A・B それぞ
れ順不同。

三

問一	(1)	すぐ	れた	(2)		助	成	(3)		し	さ	く	(4)		け	ず	る		
	(5)	従	来		(6)	失	わ	れ	る	(7)		規	模	(8)		ぼ	う	だ	い
問二	破	壊		問三	両	論		問四	a	イ	b	イ							

三
24点・二点×12
12点・一点×12

四

問一	初	め	い	っ	し	か	ゝ	終	わ	り	さ	や	あ	る		
問二	あ	わ	れ	な	り	つ	る	こ	こ	ろ	の	ほ	ど	問三		エ
問四	ウ		問五	恋	し	く	あ	は	れ	な	り					

四
14点
他は4点×2
7点・問一・二・三・四・五・六・七・八・九・十・十一・十二・十三・十四・十五・十六・十七・十八・十九・二十・二十一・二十二・二十三・二十四・二十五・二十六・二十七・二十八・二十九・三十・三十一・三十二・三十三・三十四・三十五・三十六・三十七・三十八・三十九・四十・四十一・四十二・四十三・四十四・四十五・四十六・四十七・四十八・四十九・五十・五十一・五十二・五十三・五十四・五十五・五十六・五十七・五十八・五十九・六十・六十一・六十二・六十三・六十四・六十五・六十六・六十七・六十八・六十九・七十・七十一・七十二・七十三・七十四・七十五・七十六・七十七・七十八・七十九・八十・八十一・八十二・八十三・八十四・八十五・八十六・八十七・八十八・八十九・九十・九十一・九十二・九十三・九十四・九十五・九十六・九十七・九十八・九十九・一百
問一 初めと終わりの
両方できて正解。